



風っ子・環境キャンペーン



まだまだ元気に咲くアサガオの前に並ぶ緑化委員のメンバーたち

前橋市

今年の種を来年に 伝統のグリーンカーテン

前橋市立粕川中学校

前橋市立粕川中学校（粕川町西田面）では、種から育てたアサガオのグリーンカーテンをついて翌年につなげている伝統のグリーンカーテンです。

前橋市立粕川中学校（粕川町西田面）では、種から育てたアサガオのグリーンカーテンをついて翌年につなげている伝統のグリーンカーテンです。昨年、新学期早々休校が続いたため、例年よりスタートが少し遅れてしまいました。休校明けの6月、緑化委員が10基のプランターにおよそ150粒の種をまきました。無事に発芽し、本葉が5〜6枚になった100株を、学習室前と生徒玄関脇の花壇に移植しました。平日は委員会のメンバーが、夏休みは委員会に関係なく部活動に参加した生徒たちが水やりを担当。みんな愛情を持って育てました。すると秋になって不思議なことが起こりました。普段は10月に入ると枯れてくるアサガオが11月半ば過ぎても花を咲かせているのです。スタートが遅れた分以上、長く咲くことにびっくり。特に日当たりのよい玄関脇の方は元気で、まだまだ咲き続けそう。種ができる期間もずれこんでいるようで、緑化委員たちは10月半ばくらいから種をとっているそうです。



果皮は、直径およそ1センチ。小さいので種を取るのも大変です

長年の星野晴蘭さん（同）は「緑が目にも優しく、気持ちも安らぐところもよい」と教えてくれました。「粕川中生まれのアサガオのカーテンが続いているのがうれしい」と話しながら種を取る副委員長の高橋まりあさん（同）。集めた種は、来年へ。こうして、愛情のバトンが受け継がれていきます。

前橋市立粕川中学校

金井幸光校長 263人
前橋市粕川町西田面138
TEL.027-285-2027
http://menet.ed.jp/kasukawa-jhs/

「元気」に活動する力を「活力」、心の温かさと「潤い」と捉えた「活力と潤いのある学校づくり」を進めている、魅力あふれる学校です。



来年も楽しみだね

群馬県のマスコット「くまちゃん」 許諾第2019-110878号

身近にできるエコ活動

恵方巻きと食品ロス

みなさんは、節分に恵方巻きを食べますか？ 恵方巻きは、縁起がよい食べ物と言われますが、実は食品ロスとも関係があります。恵方巻きなどの季節食品は、消費される期間が短く、廃棄される量が多くなってしまふことが問題でした。現在、多くの企業が対策をした結果、廃棄される量は少なくなってきています。もちろん、私たちにもできることがあります。それは、無駄な量の恵方巻きを買わないことです。食べきれない人数分だけを買って、恵方巻きの廃棄を防止しましょう。

群馬県環境サポートセンター

風っ子・環境キャンペーン協賛社

(順不同)

トヨタ モビリティパーツ株式会社 群馬支社

Honda Cars 群馬

KADOYA 角屋工業株式会社

日産サテオ群馬

富士スバル

Uユーカーホーム (株)浦野建設

ニューサンピア

JA全農ぐんま

群馬トヨペット

カネコ種苗株式会社

上武印刷株式会社

トヨタレンタリース群馬

総合住宅展示場 上毛新聞マイホームプラザ